

令和5年度 第1学年 国語科 ※学習内容は順番を入れ替える可能性があります

学期	月	(教材名) 学習内容	主な学習活動	評価方法
1	4	○思考・判断・表現力を身につけるために ・「野原は歌う」 ・「声を届ける 書き留める 調べる 続けてみよう」 ・「シンシユン」	○思考・判断・表現力（主に話す・聞く能力）を身につけるために  自分の興味のある課題やテーマ、ことばを見つけて、それについて調べて考えたことをスピーチします。聞き手は話し手が何を伝えたいのかを考えながら、メモをとり、マナーを守り聞き取ります。話し手は、いくつかの観点にしたがって工夫をして話します。  ○思考・判断・表現力（主に書く能力）を身につけるために  「読書感想文」「各種作文コンクール」に向けて、「自分だけの作文を書こう」というテーマの基、話題選びに重点を置き、自分らしい作文を書きます。	○「主体的に取り組む態度」の評価方法 ・ノートがきちんと書け、整理してあるか。 ・授業に意欲的に取り組んでいるか。 ・家庭学習を行っているか。 ・スピーチを積極的に行っているか。  など  ○思考・判断・表現力（主に「話すこと・聞くこと」）の評価方法 ・聞き手にわかるように工夫して話しをしているか。 ・話し手を意識して聞こうとしているか。 ・スピーチ・発表・メモ ・話し手の伝えたい内容を正確に聞き取っているか。 ・話し合いなどから自分の考えが広がったか。  など
	5	・「情報を整理して書こう」 ・「ダイコンは大きな根？」 ・「ちょっと立ち止まって」 ・「話の構成を工夫しよう」 ・「比喩で広がる言葉の世界」 ・「詩の世界」 ・「言葉を集めよう」 ・「読書を楽しむ」		
	6	・「本の中の中学生」 ○知識・技能を身につけるために ・「漢字の組み立てと部首」 ・「硬筆」		
2	7	・「指示する語句と 接続する語句」 ・「言葉のまとまりを考えよう」	○思考・判断・表現力（主に読む能力）を身につけるために  ここに書いてある学習材の文章を読み、感じて欲しいことや理解して欲しいことなどを身に付けます。それぞれの学習材の読みとる内容と目標は違います。それぞれ教材に適した展開で進めます。  ○知識・技能を身につけるために  ことばに触れ、ことばに興味・関心を持つことができ、ことばの大切さやことばの持つ奥深さなどを感じて欲しいです。また、正しい漢字や正確な文字などを身に付けることも大切です。漢字のテストや練習は毎週1回程度行います。継続して行うことが大切です。	○思考・判断・表現力（主に「書くこと」）の評価方法 ・伝えたいことを明確にして書けたか。 ・身近な生活から課題を見つけ、資料を集め自分の考えを書けたか。 ・文書を読み合い、自分の表現に生かされたか。 ・ノート・発表など ・スピーチの原稿がわかりやすく書けたか。 ・司会の原稿がわかりやすく書けたか。  など  ○思考・判断・表現力（主に「読むこと」）の評価方法 ・様々な種類の文章から必要な情報を集められたか。 ・読んだり、集めた情報から自分の考えを深められたか。 ・文書の展開に沿って内容を理解できたか。 ・文章中の語句の効果的な使い方を自分に役立てたか。 ・百人一首の暗記ができたか。  など
	9	○思考・判断・表現力を身につけるために ・「星の花が降るころに」 ・「大人になれなかった弟たちに ……」 ・「項目を立てて書こう」 ・「『言葉』をもつ鳥、 シジウカラ」		
	10	・「根拠を示して説明しよう」 ・「音読を楽しもう いろは歌」 ・「月に思う」 ・「蓬萊の玉の枝」 ・「今に生きる言葉」 ・「『不便』の価値を見つめ直す」 ・「流れを踏まえて話し合う」 ・「話題や展開を捉えて話し合おう」 ・「助言を自分の文章に生かそう」		
	11	○知識・技能を身につけるために ・「漢字の音訓」 ・「方言と共通語」 ・「言葉の関係を考えよう」 ・「書きぞめ」		
3	12		○ICTを活用した学習内容 故事成語についてタブレットを使用しながら探究的に学習をすることもあります。	○知識・技能(主に「言語について」)の評価方法 ・書写の中で、字形、文字の大きさ、配列など調和よく書けたか。 ・漢字テストで合格したか。 ・文法テストで合格したか。 ・ことばに興味を持ち、使うことができたか。  など
	1	○思考・判断・表現力を身につけるために ・「少年の日の思い出」 ・「随筆二編」		
	2	・「構成や描写を工夫して書こう」 ・「一年間の学びを振り返ろう」 ・「さくらの はなびら」		
3	3	○知識・技能を身につけるために ・「さまざまな表現技法」 ・「漢字の成り立ち」 ・「単語の性質を見つけよう」		